

政策整理番号 26

評価シート(A)

対象年度	H16	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁文化財保護課
------	-----	-------	-------------	-------	-----------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3-8-1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興
------	-------	-----	---------------------

政策概要	余暇時間の増大や価値観の多様化を背景として文化や芸術への関心が高まっていることを受け、地域の誇りとなる文化・芸術の振興や保存を目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用 先人から引き継がれてきた文化遺産や生活に息づいている文化を、保護、保存、活用し、次代に引き継ぐことを目指します。	
2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり 豊かでうまいのある生活を実現するため、音楽や演劇、美術、文学などの優れた芸術作品に、身近に接することができるような環境づくりを目指します。	・県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数
3	県民が行う創作活動や表現活動への支援 創造的な営みを通していきいきとした暮らしを実現するため、県民が自ら行う創作活動や表現活動を支える体制づくりを目指します。	・県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数
4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用 地域の食材を生かした個性的な食の伝統を継承・活用し、豊かでゆとりのある食文化を醸成する取組を支援します。	・食文化の醸成に取り組む市町村の割合
5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成 新たな文化・芸術を創造し、文化・芸術活動を活発にする土壌を作るため、次代を担う人材の育成を目指します。	
6	海外との文化交流等の推進 海外との文化交流や異なる文化の融合などにより、新たな文化が生み出される環境づくりを目指します。	

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	63	62	62	65	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	3 【低い】	2 【低い】	2 【低い】	5 【低い】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・県民が日頃行っている創作活動や表現活動、美術や演劇などの文化・芸術活動に親しむための環境づくりなど、政策目標にあった事業であり、施策目的に合致する。 【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・重複や矛盾は特になし A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・重視度は、これまでの継続的な事業実施の成果により過去最高となった。女性よりも男性が低くなっており、男性に対する啓発が必要である。年齢別では65歳未満が低くなっており、現役世代に対する事業開催の配慮が必要と思われる。 ・満足度は、性別・年齢別等でもある程度の水準で一定する傾向にあると思われる(60点前後)。これは、点数で表記しにくいことや目標が段階的に高度化すると思われること、また、県民が多様なライフスタイルを指向することから、多岐にわたる需要があるものと考えられる。総合的にみると、まだ十分でないという感覚を常に抱く傾向にあると思われる。 ・重視度が高まっていく傾向は、県民が文化に対する理解の深まり、需要の高まりを表しているものと判断される。満足度は、ある程度固定値で推移している事情から、かい離度が進むこと自体は重要度の高まりという面で、政策の効果が現れているものと考えられる。 ・本県においては、平成16年7月に文化芸術振興条例が制定され、具体的な施策を展開する宮城県文化振興ビジョンも平成17年7月に策定されることから、本政策はそのビジョンを具現化する最も有効な政策となると考えられる。

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括	
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか()				
1	第4回	34.3%	1位	・本施策の優先度は6施策中1位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大	
	第3回	35.8%	1位			
	第2回	32.5%	1位			
2		28.8%	2位	・本施策の優先度は6施策中2位である。 ・本施策のかい離は11点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている		大
		25.3%	2位			
		27.1%	2位			
3		8.3%	5位	・本施策の優先度は6施策中5位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない	大	
		8.9%	4位			
		7.8%	5位			
4		14.7%	3位	・本施策の優先度は6施策中3位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:比較的感じていない		大
		16.5%	3位			
		16.5%	3位			
5		8.7%	4位	・本施策の優先度は6施策中4位である。 ・本施策のかい離は19点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない	大	
		8.4%	5位			
		9.0%	4位			
6		4.3%	6位	・本施策の優先度は6施策中6位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない		大
		4.5%	6位			
		5.8%	6位			

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・入場者数という量的指標を設定して達成度を導き出している現在においては、各個人の多様な価値観や満足度が反映されるような指標を検討する必要もあると思われるが、施策の性格上、短期的には県民満足度調査に反映しにくい面や、施策を支える事業の工夫次第で、県民満足度調査に今後どのように反映されるのか、推移をみる必要があると思われるので、しばらくは、ますますの事業内容の充実を図るなど、事業推進に力を注ぎ、状況を見極めたい。 「政策評価指標分析カード」から

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 概ね適切
 ・適切に設定されている。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

有効 概ね有効 課題有

視 点	政策全体	施策2	施策3	施策4			
政策評価指標達成度	有効	有効	有効	概ね有効			
県民満足度	有効	有効	有効	有効			
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			
全 体	有効	概ね有効	有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

国においては、平成13年12月に文化芸術振興基本法が公布、施行され、また食育基本法が本年6月通常国会で成立する見込である。
 ・本県においては、平成16年7月に文化芸術振興条例が制定され、具体的な施策を展開する宮城県文化振興ビジョンも平成17年7月に策定されることから、文化芸術が地域づくりの起爆剤になると思われる。本政策はそのビジョンを具現化する最も有効な政策となると考えられる。

対象年度 H16

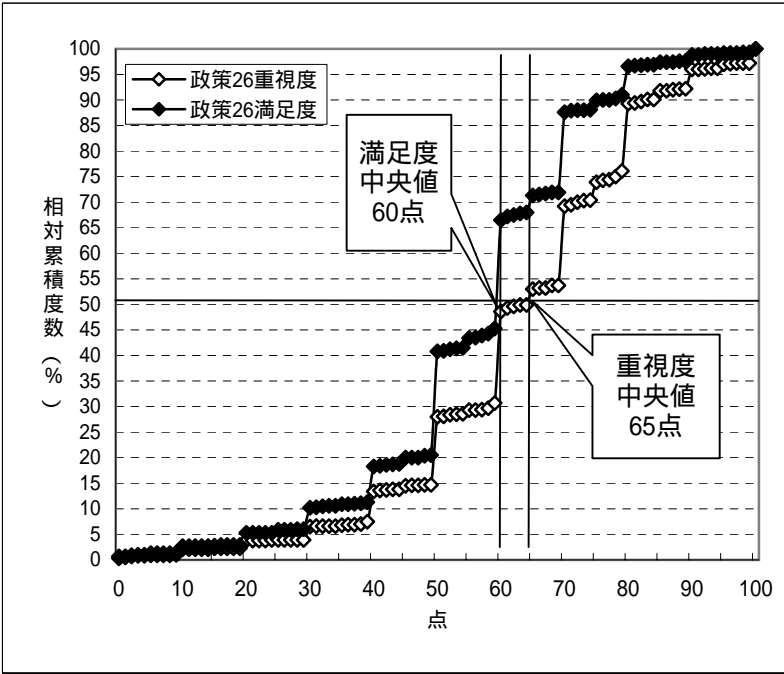
政策番号 3-8-1

政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 49.9

高認知度 45.1

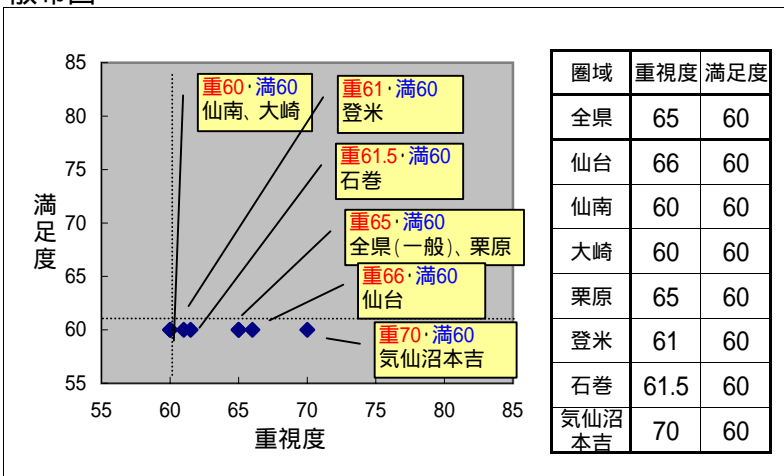


高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	65	70	70	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

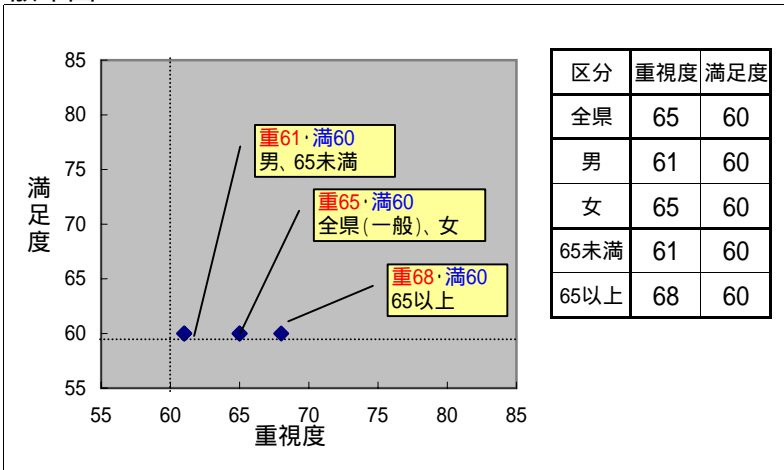
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	66	70	-	60	60	-
仙南	60	70	-	60	60	-
大崎	60	63.5	-	60	60	-
栗原	65	62	-	60	60	-
登米	61	70	-	60	60	-
石巻	61.5	70	-	60	60	-
気仙沼本吉	70	70	-	60	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	61	-	-	60	-	-
女	65	-	-	60	-	-
65未満	61	-	-	60	-	-
65以上	68	-	-	60	-	-

対象年度 H16

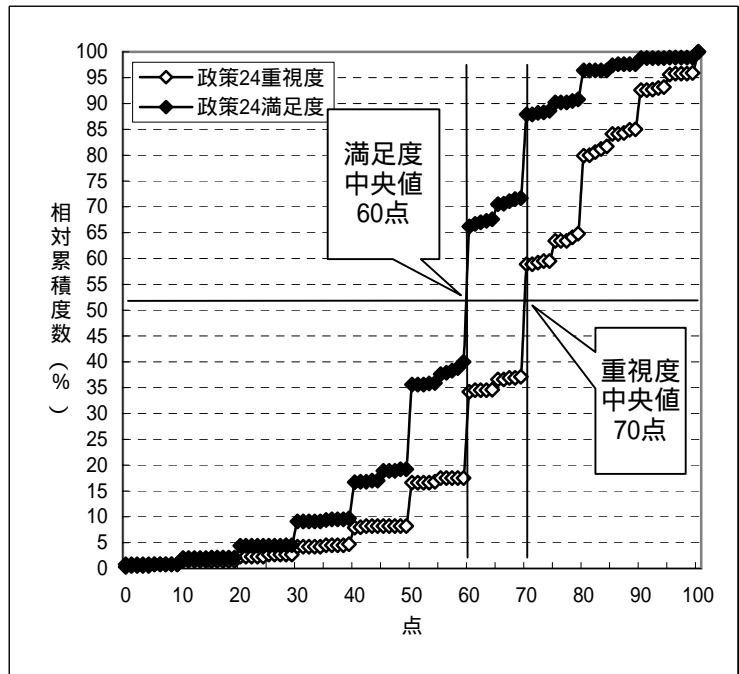
政策番号 3-8-1

政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

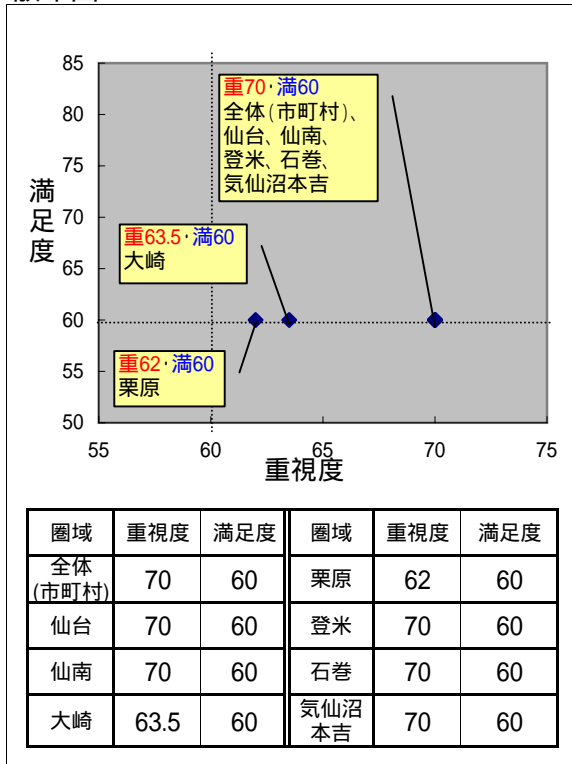
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 57.4

高認知度 65.8



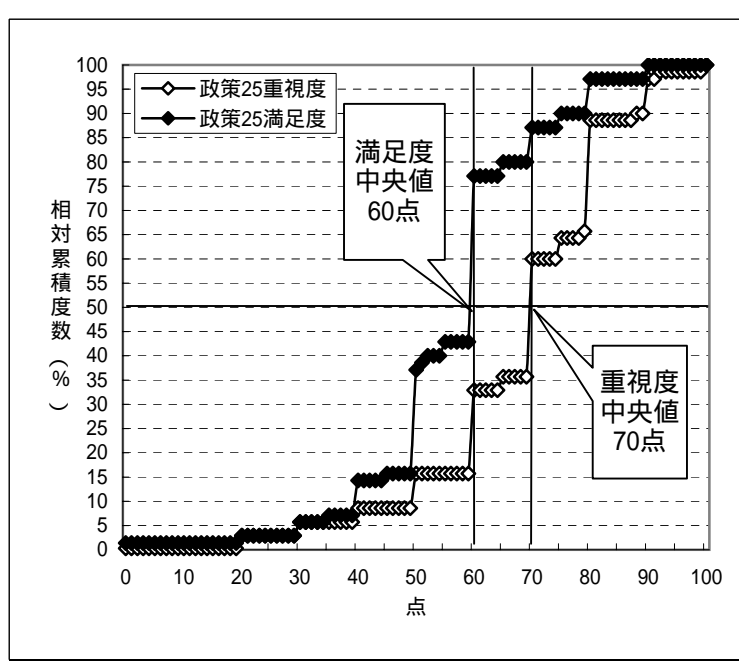
散布図



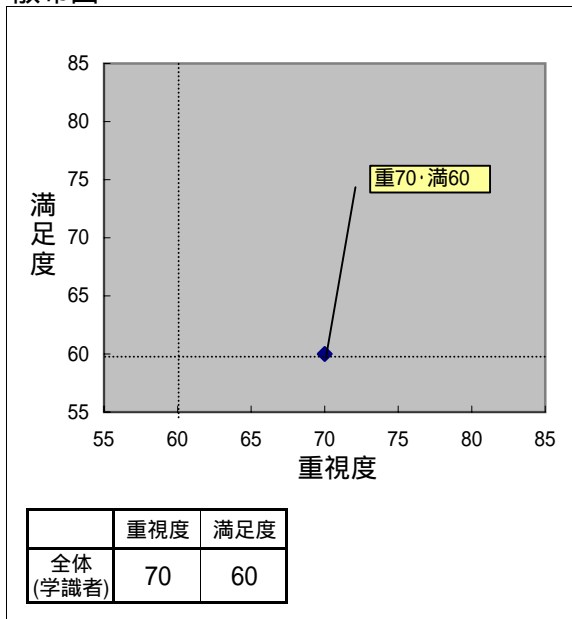
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 80.9

高認知度 76.4



散布図

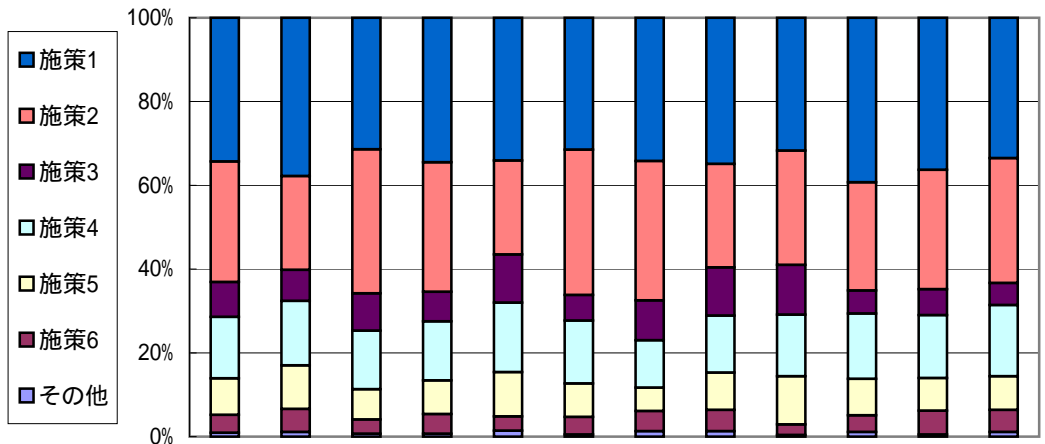


対象年度 H16

政策番号 3-8-1

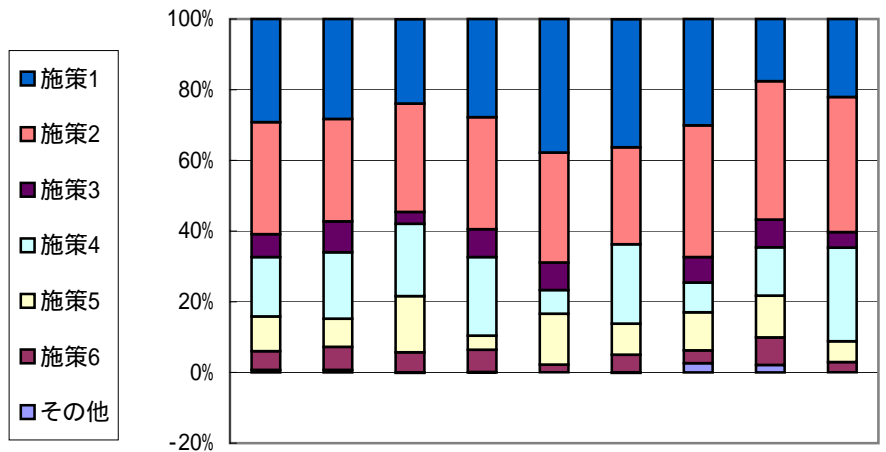
政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	34.3	37.8	31.4	34.5	34.1	31.5	34.2	34.9	31.7	39.3	36.3	33.5
施策2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	28.8	22.4	34.4	30.9	22.4	34.7	33.3	24.7	27.3	25.8	28.5	29.8
施策3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	8.3	7.4	8.9	7.1	11.5	6.1	9.5	11.5	11.9	5.5	6.2	5.3
施策4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用	14.7	15.4	14.0	14.1	16.6	15.0	11.3	13.6	14.7	15.6	15.0	17.0
施策5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	8.7	10.4	7.2	8.0	10.6	8.0	5.6	8.9	11.5	8.7	7.8	8.0
施策6	海外との文化交流等の推進	4.3	5.5	3.4	4.7	3.4	4.2	4.8	5.1	2.5	4.0	5.7	5.3
	その他	0.9	1.1	0.7	0.7	1.4	0.5	1.3	1.3	0.4	1.1	0.5	1.1

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	29.2	28.3	23.9	27.8	37.8	36.3	30.1	17.6	22.1
施策2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	31.7	29.0	30.7	31.7	31.1	27.5	37.3	39.2	38.2
施策3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	6.5	8.7	3.4	7.9	7.8	0.0	7.2	7.8	4.4
施策4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用	16.8	18.8	20.5	22.2	6.7	22.5	8.4	13.7	26.5
施策5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	9.8	8.0	15.9	4.0	14.4	8.8	10.8	11.8	5.9
施策6	海外との文化交流等の推進	5.3	6.5	5.7	6.3	2.2	5.0	3.6	7.8	2.9
	その他	0.7	0.7	(0.1)	0.1	0.0	(0.1)	2.6	2.1	0.0